NEWS RELEASE

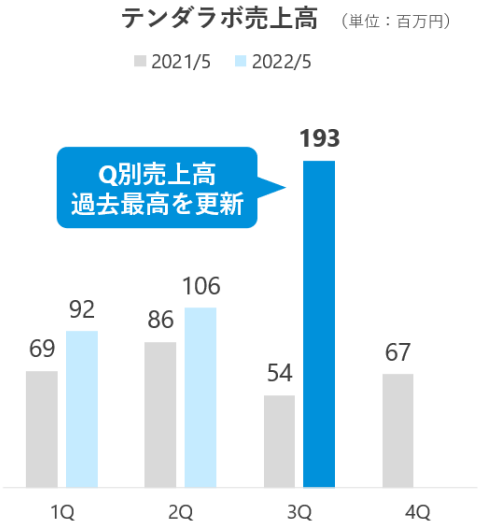
2022 年 4 月 15 日
株式会社テンダ
証券コード：4198　東証スタンダード市場

# 国内ラボ型開発テンダラボ四半期売上高 1.9 億円を突破
# 四半期別売上高過去最高を更新、前年通期累計比 142%で拡大中

株式会社テンダ(本社／東京都豊島区、代表取締役社長／中村 繁貴、以下「テンダ」)は、2020年にサービス提供を開始した「国内ラボ型開発テンダラボ」の2022年５月期第３四半期（2021年12月～2022年２月）の売上高が1.93億円で四半期別売上高過去最高、今期累計3.91億円（前年同期比355%）と大きく成長を遂げました。

## 国内ラボ型開発「テンダラボ」順調に拡大中

**ITプロのサブスクリプション「テンダラボ」が案件規模・受注件数ともに順調に拡大中。３Qは前年同期比355%の売上を計上し、今期累計売上高は３Q時点で既に前期通期実績を大きく上回る。**




**テンダのDX**

| | |
|---|---|
| 2022/5期3Q時点 累計売上高 | 391百万円（前期:209百万円） |
| 前期通期累計比 | 142%（2021/5期通期累計売上高　275百万円） |
| 2022/5期3Q時点 顧客数 | 23社（前期通期：20社） |

月額定額費用での開発体制構築や技術者確保を強みとするITプロのサブスクリプション
テンダラボ

➢ 「テンダラボ」公式サイト

https://dx.tenda.co.jp/service/tendalabo/

## ■国内ラボ型開発テンダラボとは

必要な人材を必要な期間だけ契約するラボ型開発サービス。

開発人員のみを押さえ、月額費用を定額化できることから「IT プロのサブスクリプション」とも呼ぶことができます。従来の一括請負モデルとは異なり、プロジェクトの状況に応じてアサインメンバーやチームへの作業依頼を柔軟に行うことができ、R&D や PoC 案件、仕様変更、追加開発、アジャイル開発などへの迅速な対応が可能です。

## ■成長拡大の背景

新型コロナウイルス感染症拡大以降の環境変化に対応するため、業界問わず多くの企業が業務のデジタル化の必要性に直面しています。

DX の波が押し寄せる一方で、IT 人材は慢性的な人手不足に陥っており、ハイスキルな人材で構成されたチームによる柔軟性の高い開発体制へのニーズが寄せられています。

テンダラボはそのようなニーズにマッチしており、要件定義や開発範囲が十分定まっていない状況でも着手したい企業様からの引き合いを多くいただいております。

## ■ テンダラボ活用事例

### ➢ 新規サービスの PoC 開発における活用事例

新規サービスの開発をするにあたり、コア機能から作っていく PoC 開発ができる体制が必要だったため、テンダラボを活用

### ➢ ウェブシステム構築における活用事例

ウェブシステムの構築をするにあたり、内製と同等のスピード感を持った対応と、柔軟な要件変更対応ができる開発体制が必要であったため、テンダラボを活用

### ➢ ウェブツール開発における活用事例

カスタマーサクセスオートメーションツール開発にあたり、高レベルの要員確保、仕様変更発生時の柔軟な対応などを行うため、テンダラボを活用

### ➢ アプリケーション構築における活用事例

日本の旅を楽しんでもらうための観光用アプリケーションを構築するにあたり、方針策定から検討する必要がありテンダラボを活用

今後もテンダは、ワークスタイル変革ソリューションとデジタルトランスフォーメーション（DX）を通じて、働く時間の効率化や充実、人々の余暇の充実に貢献し、人と社会に豊かさを提供し続けるとともに、さらなる事業拡大、発展に邁進してまいります。

## ■ 株式会社テンダ概要

【本社所在地】東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60（57F）

【設立】1995 年 6 月

【代表者】代表取締役会長 小林 謙　代表取締役社長 中村 繁貴

【資本金】２億８千８百万円

【事業内容】IT ソリューション事業、ビジネスプロダクト事業、ゲームコンテンツ事業

【ＵＲＬ】https://www.tenda.co.jp/

**取材に関するお問い合わせ**

株式会社テンダ（https://www.tenda.co.jp）

広報担当

E-mail：pr@tenda.co.jp

※当社はリモートワークを実施しておりますので、お問い合わせは上記メールアドレスまでお願いいたします。